

FM放送は緊急時にも大活躍 もちろん ケーブルラジオ

ケーブルの確実性、有効性に改めて着目しました。



型番:ICNW-1000

<特徴>

- ☆ ケーブルテレビ受信専用の防災ラジオです。
- ☆ ラジオの電源スイッチがOFFでもRF信号と音声信号を検出して自動的に起動します。
- ☆ 一般の放送を聞いていても告知放送に自動的に切り替わります。
- ☆ 告知放送はラジオのボリュームとは関係なく設定音量で鳴ります。
- ☆ 告知放送用のFM波は2波設定できます。(切り替え式)
- ☆ 告知放送の他に5局の放送を聞くことができます(FM波)(プリセット)
- ☆ 停電時は内蔵充電電池へ給電が切り替わります。
- ☆ 平常時も非常時も扱いが簡単なシンプル設計です。

緊急字幕放送との連動で防災対策に活用

緊急字幕放送への

視聴 誘導

緊急放送を受信すると
警報でお知らせ

自動起動
自動受信
緊急時

自動でお知らせ

内蔵電源により
停電時も
使用可能

※停電時の使用には宅内
工事が必要となります



ケーブルラジオ

ケーブルラジオの特徴

自動で緊急放送を受信 停電時には自動照明点灯

通常は一般的なラジオ放送が楽しめる(AM/FM波)、緊急告知放送を受信すると電源OFFの状態でも自動起動し大音量で受信します。(スイッチで 大・中の音量設定可能)また充電電池を内蔵しており停電時にも対応します。

※停電時の使用には別途宅内工事が必要です。
※AM波……実際には 局でAMをFM変換して 音質の良いFM波で送信されたもの

自治体からの「防災・行政放送」をCATV網で再送信受信

CATV網を利用することにより自治体からの防災無線や全国瞬時警報システム(J-ALERT)の内容を確実かつ明瞭な音声で受信でき、防災無線戸別受信機や屋外拡声器を補完します。また自治体からの放送とは別に、局から緊急字幕(L字)放送の視聴を促す通報をラジオに流す(誘導する)ことで、CATVが持つ映像情報と連携させ、より正確で詳細な防災情報を伝達することができます。

※緊急字幕放送との連動

地域に密着したエリア別告知放送に対応

各エリア毎に個別の放送が可能のため、緊急時や災害時などより地域に特化した情報を局から送信し、ラジオに届けることができます。

※エリア毎に別周波数設定が必要です。

用途に応じた目的別放送に対応

1台のラジオで緊急告知放送用の周波数を2つ設定することが出来、目的に合わせた放送の受信に対応します。(主に正規加入者と限定加入者向け放送との区別) □
※ラジオ背面の周波数切り替えスイッチで操作

平常時も非常時も 扱いが簡単なシンプル設計

複雑な操作や設定もなく幅広い年齢層の方にも扱いやすい端末となっています。CATVの有線ネットワークを利用するため、受信環境や天候に左右されることなく安定した放送が可能です。コミュニティFM(無線)の受信が困難な地域でもシステム構築することができます。

兼藤産業株式会社

〒241-0831 神奈川県横浜市旭区左近山9-5-203

TEL: 045-351-0940 FAX: 045-353-2225